

保全活動日記

実施日 2020 12/6 (SUN)	時間 10:00-12:00	天気 晴れ	参加人数 37 人
------------------------------	-------------------	----------	-----------------

信太山丘陵里山自然公園では、多様性の高い二次草原の復元をめざして環境保全活動に取り組んでいます。
 今回は、西側&東側エリアで、ネザサやクズ等の刈取りを行いました。
 また、西側エリアにおいて、三輪氏を講師に信太山里山講座を同時開催しました。



午前：西側&東側エリアの草刈り ** 活動場所・内容 **



西エリア草原（南西草原-C）に残っていたネザサの草刈りを行いました。



10台駐車できるようになりました。

仮設駐車場拡大のための草刈



ツマグロヒョウモン オオカマキリの卵 (オス)



刈り残したススキがきれいな株になっています。

午後：保全活動ミーティング

- ・今後の環境保全活動について
- ・環境保全活動 PR プログラムについて





信太山里山講座 実践学習（必修）実施報告

信太山丘陵里山自然公園にて、講師 三輪健一郎氏（いずみの国の自然館クラブ）による「公園づくりの基礎と安全管理を学ぶ」の里山講座が開催され、剪定ハサミや刈払機の実践を行いました。 4人の参加者がありました。



新型剪定ハサミの実践

剪定ハサミにはアンビル型とラチェット式があります。目的に応じて使い分けをしましょう。また、手にあったサイズを使いましょう！

アンビル型

うけ刃に、上から刃で二つに切るハサミで、軽く切れるのが特徴です。左右（手）関係なく使えます。



ラチェット式

てこの原理で、弱い力でも枝を切ることができます。

竹の種子



竹の花は、咲く時期が60～120年に一度と言われています。「次に咲く花は、我々の生きている頃にはもう見れないかもしれませんね！」と藤原先生が紹介してくださいました。

刈払機の実践

大きな石にあたると刈刃の跳ね返りがおきるキックバックをおこします。



受講生の成果

キックバック対策のため、刈払機は必ず自分の体の右側にもって作業しましょう！



一人ひとり丁寧に教えて頂きました。こんなにキレイになりました！

各器具の紹介



テキストに基づき、説明を受けました。

ナタ 太めの木を割ります。



ノコ 1cm～10cmの木を切ります。折畳み式のノコはナップバックに入れておきます。



講師の三輪氏と参加者



レーキ（熊手） 刈ったものを集めます。

枝切りハサミ やぶやバラなどの棘あるものに使います。

▼「信太山丘陵里山自然公園」について

の詳しい情報は、市のホームページをご覧ください。 \ 以下のワードで検索 /

信太山丘陵里山自然公園

検索



◀ QRコードで読み取り

- 新型コロナウイルス感染防止対策
- 三密（密閉、密集、密接）を避けること。
 - 原則として、マスクを着用すること ただし、熱中症対策に配慮し、「水分」をこまめにとり、「塩分」をほどよくとること。また、活動中に苦しくなった場合はマスクを外して活動するまたは休憩すること。
 - 必ず軍手を着用し、活動前・後の必要に応じて、準備したアルコール等の除菌液・シートにより手の消毒を行うこと。
 - 草刈機、カマ、剪定鋏などの道具や拡声器など、他の人が触れる可能性のある物には除菌シートにより消毒を行った後、再度使用するよう心掛けること。
 - 新型コロナウイルス感染症の症状の疑いがある時、或いは体調がすぐれず、咳やくしゃみ、発熱がある時は活動に参加しないこと。